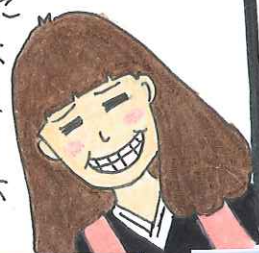


法親寺新聞

2016年 秋彼岸号
手書き新聞 No.24

こんにちは。釋 紗音です。親鸞聖人がおつくりになった〔正信念仏偈〕は、く歸命無量寿如来く南無不可思議光から始まりますね。
く無量寿如来く不可思議光は、どちらも阿弥陀様のことです。
阿弥陀とは、インドの言葉〔アミターユス(量り知れない寿命)〕〔アミターバ(量り知れない光明)〕の「アミタ」を音写した言葉です。〔無量〕〔不可思議〕は、どちらも思い量ることのできない、言葉では言い表すことのできないという意味になりますのでく無量寿如来は無限の寿命を持ち、時間的に限りなく救ってくださる如来様、く不可思議光如来は空間的にいつでもどんな時でも救ってくださる如来様ということになります。南無はインドの言葉、歸命は中国の言葉で「任せる」という意味なので〔南無阿弥陀仏〕は「阿弥陀様にお任せします」ということですね。



大島



10人乗れる小型船で島まで連れていってあります。



大島の海は適き通っていて、とってもキレイでした。



1992年に約1000人のボランティアの手でつくられたモニュメント。



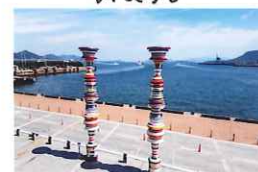
周りは全て海!!のこの作品。とても人気のスポットになっていました。



磁器でできたお花の中には瀬戸大橋も描かれていました。ステキです。



島の路地に望遠鏡などを組み込んだパイプを配管した体験型作品。



女木島



種の漂流をイメージしたおもしろい形の舟。中に首の仕掛けが...!!



通りにいきなり現れる石の周りに、地元産の石を用いているらしい。

男木島



島の方たちの思い出がボトルに封入された作品。お急珠もありました。



サウンドオブジェから、立体的な音が出て、とても癒されるカワイイ作品。



Q... 浄土真宗はなぜ、お願いをしないのですか?

A... 阿弥陀様は、悩み苦しむ全てのの人々を一人残らず救いたいと願われ、そのはたらきは私が願うより先に既に私に届いています。困ったときや、都合の良いときに願ってしまう不完全な私たちを救ってくださる阿弥陀様に感謝の南無阿弥陀仏を申しましょう。



お知らせ

秋季永代経法座

- 日時 ●平成28年10月24日(月) 午後1時～
- 場所 ●法親寺本堂
- 講師 ●住職

※お車は、隣接馬場駐車場及び臨時馬場(ハローワーク北バス停前)をご利用ください。



休校中の女木小学校の中に作られた作品たち。カラフルでおもしろい。



坂道を乗り越えて登ると、ステキなまち並みと海が見渡せる作品がありました。



今は使われていない倉庫を活用し、作られたシアター。とてもおしゃれ。



feel feel BONSAI. タイトルの通り盆栽ですが、お風呂の中にも...!!